

## 皆野会場質疑応答

令和2年10月6日(火) 19時

住民

決まったことの説明をしている会場である。

採算性が低い地域、5年ごとに必ず値上げがされていく、人口が減れば減るほど負担は増える。設備を過剰なものを使っているとか、そういう細かいところが資料の中に無い、経費が妥当なのかが理解できない。そういうところを住民に説明するべき。結果的な値上げ率、数字的なものは分かる。経費のところは、本当に妥当性が有るのか分かりにくい。質問ではなく感想である。

住民

値上げになる、横瀬町と小鹿野町においては、統一料金の適用を6か月間先送りすることが予定されている。皆野町も20数%上がる家庭がある、そういった家庭の先送りは考えて頂かなかったのかどうか？

水道局

基本的には、17.91%の料金改定を進めさせていただいた。この中で、コロナ禍で収入減等の影響を受けている家庭もある。皆野長瀬の中でも、1家庭ずつ比較対照すると上がる方もいれば、概ね下がる形になる。全体的な枠組みの中で、横瀬町、小鹿野町、の地域の方々が値上がりになる。特に小鹿野は値上げ率が非常に高い、答申の中でも、激変緩和措置も各市町での検討も挙げられている、平均的に値上げをする地域だけ先延ばしをする形の内容になった。

平均的な値上げがある地域だけ先延ばしとして、今回検討させていただいた。ご理解を頂きたい。

- 以上 -